

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成30年 3月 26日

2級受検番号 NO 03S3120552

氏名 K・K

(東京 在住)

1 試験に向けた準備の状況

どのような内容を、どの程度行ったか

1 級キャリアコンサルティング技能士の会の当社に特化した、2 級対策講座に参加

- ・ 論述過去問を様々なケースで実施
- ・ 受検者同士でのロープレの練習を研修時及び試験前に数回実施
- ・ ロープレでの導入のCL との話し方などを想定し繰り返し一人ロープレ
- ・ 自身のロープレ内容を録音、確認し癖を把握
- ・ 事例ケースについての想定される内容、方策を洗い出し

準備に対する振り返り

- ・ 事例ケースについて洗い出しをやって整理ができたのはよかった。
- ・ ロープレの練習は時間が取れず数が少なかったのもう少し実施した方がよかった。
- ・ 論述については、ケースをもう少し増やしてあらゆるケースに対応できるようにしたかった。

これから受検する人へのアドバイス

- ・ 論述はあらゆるケースで書くと様々なケースで書けるようになります。
- ・ ロープレは自己紹介から相談を聞くまでの話す内容など決めて練習すると本番で落ち着いて相談内容に入ることができます。

2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日：1月 25日(木)

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

平日希望だったため

試験官の性別：男性1人、女性1人 事例番号：1 2 3 4

試験管 男性1人、女性1人

事例番号：3 清水さん 女性

3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	自己紹介時の守秘義務、安心して話してもらえるように言葉を選びに注意した
② 基本的態度	相談内容を傾聴し、ラポールの形成ができるようカウンセリングを実施

③ 関係構築	沢山話をしてもらえよう、いろいろなポイントで承認し、また質問を交えてCLの話が膨らむよう意識した
④ 問題把握	話を聞いているとあまり深く考えていないような点が多く感じられた。キャリアについて相談には来ているが、愚痴や話をしたいがあまり深く考えていないように感じた
⑤ 具体的展開	目標の同意からそのあとの具体的な施策の際にいくつか話を聞いているとことで終了してしまい具体的な方策で進めることができなかった。
⑥ 口頭試問の内容と回答	CLの自己理解、仕事理解の不足や環境への働きかけについて問題について説明はできたが、実際に方策でやりたかったことを具体的に説明ができず、大枠の説明で回答してしまった。
<p>これから受検する人へのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ プレをいろいろなケースで練習し録音して自分の癖の確認をすること</li> <li>□ 口頭試問の練習を繰り返す</li> </ul>	